

横浜弁護士会

人権擁護委員会・憲法問題対策本部 共同企画

# 憲法企画 2本立て!

- ◆ 憲法劇「9条は守りたいのに口ベタなあなたへ・・・」上演  
作・構成 永井愛 上演台本 篠原久美子  
出演 チーム口ベタ
- ◆ 講演「ヘイトスピーチと嫌韓を考える」  
講師 阿部浩己さん(神奈川大学法科大学院教授)

\*\*\*\*\*



日時：2015年1月24日(土)  
16時00分～18時00分

定員 418名

会場：横浜市開港記念会館 講堂 (横浜市中区本町 1-6)

共催：日本弁護士連合会(予定)



当会HPもご覧下さい



みなとみらい線日本大通り駅下車徒歩1分

JR関内駅・横浜市営地下鉄下車徒歩7分

## \* 人権シンポ in かながわ 2015 憲法2本立て \*

前半はあの永井愛さん作・構成の「9条は守りたいのにロベタなあなたへ・・・」を市民劇団「チームロベタ」が上演します。永井愛さんが憲法9条への思いを込めた脚本をご堪能ください。あなたもきっと周りの人と憲法の話がしたくなる。。。

後半は、阿部浩己さんとともに、ヘイトスピーチや朝日新聞バッシングなどの嫌韓について考えます。私たちは偏狭なナショナリズムにどう立ち向かえるのか、憲法がめざす平和主義とは？表現の自由とは？是非ご一緒に考えたいと思います。

### プロフィール

永井愛さん

劇作家・演出家。二兎社主宰。桐朋学園大学短期大学部演劇専攻科卒。

「言葉」や「習慣」「ジェンダー」「家族」「町」など、身近や意識下に潜む問題をすくい上げ、現実の生活に直結した、ライブ感覚あふれる劇作を続けています。日本の演劇界を代表する劇作家の一人として海外でも注目を集め、『時の物置』『萩家の三姉妹』『片づけたい女たち』『こんにちは、母さん』など多くの作品が、外国語に翻訳・リーディング上演されています。

(二兎社HPより)

### 《あらすじ》

舞台は現代の日本。ある町内に、不思議な一団が潜入した。

彼ら・彼女らは未来の世界からタイムマシンでやって来たテレビクルーと「世間話研究家」。ある主婦の行動を未来に向けて実況中継することが目的らしい。その主婦が選ばれた理由は、「憲法を世間話で語りまくった」大変貴重な例として歴史に残っているからだ。彼女は「憲法九条を守りたい」と当然のように考えていた。

ところがある日、通っているパッチワーク教室で、改憲派の生徒に詰め寄られてタジタジとなる。

「北朝鮮が攻めてきたらどうするのか」「自衛隊がいらないということは、自分の家に鍵をかけないのと同じことだ」……等々。

こんな時にどう反論したらいいのだろうか？ 悩んだ彼女は、自分の家族や「横丁のマダム」に相談したり、行きつけの美容院、風変わりな「改憲バー」などで、立場も考えも異なる様々な人たちとこの問題についての「お喋り」を重ねながら、次第に自分なりの考えを深めていく。

憲法九条をめぐる問題を、日常会話の中でとらえた「目からウロコ」のディベート劇！！

(二兎社HPより)

### プロフィール

阿部浩己さん

1958年伊豆大島生まれ。早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士（法学）。現在、神奈川大学法科大学院教授、国際人権法学会理事長、かながわ人権施策推進協議会会長、国際人権NGO「ヒューマンライツ・ナウ」理事長。専攻は国際法・国際人権法。主著に『国際人権の地平』（現代人文社、2003年）、『抗う思想／平和を創る力』（不磨書房、2008年）、『国際法の暴力を超えて』（岩波書店、2010年）、『国際法の人権化』（信山社、2014年）、『国際人権を生きる』（信山社、2014年）など。

当会では、イベントの内容を記録し、また成果普及に利用する為、会場での写真・映像撮影及び録音を行っております。本イベントでは、司会者等を除き、撮影は背後からのみ行います。写真や映像に映りたくない方は、会場の後方にご着席されますようお願いいたします。